

平成26年度決算報告書及び
平成27年度事業計画

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

目 次

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1	概要	1
2	事業内容	7
(1)	展示事業	7
(2)	普及事業	7
(3)	資料収集・管理事業	12
(4)	資料整理・保存事業	13
(5)	閲覧サービス・情報公開事業	14
(6)	調査・研究事業	15
(7)	自主事業	16
(8)	施設管理運営事業	17
3	平成26年度調布市武者小路実篤記念館利用状況	18
(1)	実篤記念館利用者数	18
4	役員・会議に関する事項	19
(1)	役員名簿（平成27年3月31日現在）	19
ア	理事及び監事	19
イ	評議員	19
(2)	会議の開催	19
ア	理事会	19
イ	評議員会	20
	平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支計算書	21
	平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館正味財産増減計算書	25
	平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館貸借対照表	28
	平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財産目録	29
	平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財務諸表に対する注記	30
	監査報告書	31

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1	基本方針	32
2	指定管理に当たる基本方針	33
3	実施方針	33
(1)	事業の運営に関する業務	33
(2)	施設の運営に関する業務	34
(3)	施設の管理と整備に関する業務	35
4	平成27年度重点事業	35

5 事業内容	36
(1) 展示事業	36
(2) 普及事業	37
(3) 資料収集・管理事業	40
(4) 資料整理・保存事業	41
(5) 閲覧サービス・情報公開事業	42
(6) 調査・研究事業	43
(7) 自主事業	43
(8) 施設管理運営事業	44
平成27年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会概要及び日程	46
平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支予算書	49

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1 概要

平成26年度は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館（以下「財団」という。）が発足して2年目を迎え、指定管理者としての業務の初年度となりました。

調布市武者小路実篤記念館の設立理念に基づき、これまでの実績と信頼を活かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点として、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、更に良質で魅力のある事業を展開するとともに、より安定性及び継続性のある効率的な組織運営体制を構築するよう努めてまいりました。

財団では、平成26年度は次のとおりの事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を固めながら積極的に事業展開をしてまいりました。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業と移動展、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

<組織・運営体制>

1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。

3 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。

4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と興行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。

実施した主な事業につきましては、以下のとおりです。

(1) 展示事業

展示事業は事業の中心であり、年2回の特別展では、春は「美の宝庫」～油井コレクションに見る実篤作品～を開催し、武者小路実篤の画としては珍しい絹本に描いた作品は、特に筆致や墨の線が異なり、また作品が大型であることなどから、観覧された方々には満足度の高い展示となりました。

秋には「父・実篤の周辺で～家族の物語」を開催し、実篤と家族との交流を軸に素顔の実篤を知る機会となり、観覧者からは「実篤の人となりに触れることができ、暖かみのある展示」との感想が多く寄せられ、また、実篤作品や安子夫人のスケッチの展示と三女・辰子さんの回想をあわせて紹介することで分かりやすい展示であったと好評を得ました。

また、6回の企画展では、幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、あわせて実篤記念館の充実した収蔵品を紹介しました。

さらに、調布市文化会館たづくり展示室で、移動展「河野通勢～その描写と想像の世界」を開催しました。これまでの移動展のテーマは実篤や実篤にまつわる活動を紹介する展覧会でしたが、今回は実篤と交友のあった画家の活動を紹介する展覧会として初めての試みとなりました。展示作品群の質の高さと内容の豊富さで、じっくり観覧する方や何度も訪れる方も多く見られ、寄贈された河野通勢作品・資料8,006点のうち、代表的な作品を展示し、寄贈作品のお披露目ともなりました。

資料館の東面壁面に新たに展示用の掲示板を増設したことで、展示スペースが増え、これまでの展示に加え、一味違った展示内容を展開することができるようになりました。新聞等にも取り上げられ、多くの利用者に実篤記念館の展示内容の幅広さや、豊富な収蔵品の魅力を伝えることができました。

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

夏休みの自由研究サポートをこれまでの週1回の開催から毎日実施し、内容も新たにしたりところ、多くの参加者とリピーターが増え、好評な事業となりました。

また、ボランティア養成も兼ねた武者小路実篤や記念館についての入門講座は、少人数を対象とした気軽な講座内容を目指したところ、参加者と対話をしながらの進行が多くの利用者に満足度の高いものとなり、今後の講座運営の展開に新たな方向性を見出すことになりました。「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として幅広い世代に対し良質な事業を提供し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場として、魅力ある事業を実施しました。

イ 学校教育との連携事業

市内小・中学校に対して実篤に関する資料・情報を提供するとともに、職場体験の受入れを引き続き進めたり、学校図書館での実篤紹介のミニ展示を実施しました。更に近隣中学校の卒業を控えた生徒を対象とした講座と見学会の開催などを通して協力関係を強めました。新たに出張展示のための展示パネルを作成し、中学生が興味を持つように内容を工夫し、武者小路実篤への理解をより深めてもらうように努めました。

また、実篤記念館が持つ文学、美術、自然、情報など様々な要素を活用して、実篤や記念館に親しむ機会を増やし、子どもたちが多様な体験を通して感性を磨き、自身で考える力、豊かな心を育むことができる様な事業を展開するとともに、次世代へのアプローチと利用拡大を図りました。

ウ ボランティア事業

ボランティアを養成する講座を開講するとともに、ボランティアガイドが定着してきています。ボランティアガイドの実施日に合わせての来館も増え、利用者とともに活動するボランティアの満足度も高まりました。

現在、ボランティア活動は、「ガイド」「普及事業サポート」「環境整備」の3グループに分けて活動を進めております。「普及事業サポート」グループは「実篤に挑戦」事業を担当するなど、記念館の事業展開に大きな役割を果たしています。

エ 友の会事業

友の会は実篤記念館と来館者を結ぶものであり、会員の増強と一層の充実に努め、会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行するほか、交流会も実施しました。

オ 広報事業

実篤記念館の事業活動をより多くの方々に知っていただくために、ホームページの活用と充実に努めたことでアクセス件数も伸び、また、調布市のツイッターも利用してトピックや最新情報をこまめに画像とともに提供したことで、広報発信件数が飛躍的に伸びました。こうした各方面への積極的な広報活動により、「ヒカリモ」の紹介をはじめテレビや新聞等の報道でも取り上げられ、実篤記念館を広く周知し、利用者増につなげることができました。

「ぐるっとパス事業」では、〈東京・ミュージアムぐるっとパス2014〉事業への参加を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に努めました。

「印刷物編集・刊行事業」では、広く武者小路実篤への理解を深めるために特別展パンフレット、小・中学生向けの解説シート、記念館事業を紹介する館報などの刊行物を編集・刊行しました。

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集事業

実篤記念館事業の一層の充実を図るためには、必要に応じて美術作品、原稿、書簡類、図書などの関係資料を収集しており、財団では引き続き収集に関する各種情報を集めるとともに、図書・雑誌等の購入業務を行いました。

平成26年度は、河野通勢作品・資料がご遺族より数多く寄贈されました。平成12年度から継続的に調査を続けてきた作品・資料群で、油彩、挿絵原画、素描、版画など主要作品は200点余りで、そのほかは、挿絵の画稿や自筆資料、実篤たちが活動してきた時の西洋美術受容や風俗を知る上でも貴重な資料となる蔵書や美術関連資料、明治～大正期の複製画など多彩な内容で総計は8,006点にのびました。

ご遺族がこれまでの実篤記念館の事業活動に信頼を寄せられたことによるもので、これまでの財団による事業の成果であり、今回の寄贈は、財団が標榜している日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」としての位置づけを確固としたものにする機会となりました。

イ 資料管理事業

平成26年度新たに指定管理業務となり、所蔵作品の貸出にかかわる申請・承認や貸出作業特別撮影への対応や、貴重な作品のために動産保険の加入手続き等を担いました。

(4) 整理・保存事業

収集された作品・資料を速やかに整理し、良好な状態で保存し、後世に貴重な作品・資料を伝えるように努めました。収蔵品データベースは、寄贈された河野通勢の作品・資料をはじめ

とした新収蔵品のデータ入力や、データと資料の照合作業を進め、情報の充実を図りました。

更に、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図るために、保存・記録作業のほか、作品修復、資料の複製制作を計画的に実施しました。

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

開架図書を中心とする一般閲覧業務、レファレンス業務のほか、展覧会や事業にあわせた図書紹介など、資料の活用促進を図り、利用者の窓口としてサービスの充実に努めました。

また、開架図書や貴重な作品・資料の閲覧・レファレンス業務の特別閲覧業務では、専門的で高度な質問や閲覧にも対応しました。

イ 情報公開事業

コンテンツや情報の充実に努め、より多くの方々に収蔵品情報、事業、実篤関連情報、事業記録などを知っていただくために、情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）の運用を引き続き進めました。

昨年度のリニューアルにより、タッチパネルでの利用ができることで、年代を問わず多くの方が利用するようになり、また、旧実篤邸の公開日には、タブレット端末を備え、実篤が暮らしていた頃の邸内の様子や実篤公園の四季など密接な情報を提供いたしました。

(6) 調査・研究事業

特別展開関連及び収蔵資料の調査を実施し、これまでの調査で得た情報を活用し、他の文学館美術館や研究機関との協力を得ながら、「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとしての役割を担うべく、調査・研究活動を進めました。

春・秋の特別展や移動展にともなう資料調査のほか、所蔵書簡の翻刻40点など、実篤記念館事業の基礎となる調査・研究を実施しました。

また、長年データ化を進めている実篤主宰雑誌の目次データのうち、新しき村関連雑誌目次93年間分（大正7年（1918年）～平成23年（2011年））を整備し、ホームページで公開しました。

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

ミュージアムグッズの販売を通して、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高め、自主財源を増やすとともに、特別会計を設けて会計の透明化を図りました。その収益は、自主事業（朗読会、観梅会）の充実や、魅力あるミュージアムグッズ作りにあて、普及事業の更なる充実をサポートしました。

平成26年度は新たに市役所売店で年間を通した販売を始め、移動展会場、仙川商店街の店舗、鎌倉文学館などでも引き続き期間を設けた販売を行い、より多くの方に購入していただけるように努めました。

また、バレンタインシーズンにはオリジナル限定チョコレートやクッキーを販売したところ、用意した3,000個のチョコレートを完売し、好評を得たのをはじめ、新グッズとしてブックカバーを制作しました。

イ 自主事業

自主財源を確保するために、新たに駐車場に飲料の自動販売機を設置し、収益は一般会計事業に活用し、また、記念館隣接道路に設置された案内掲示板の広告料収入等を得

て自主事業の充実に役立てました。

自主事業として、1月に朗読会、2月には地域連携として桐朋学園等と協力した観梅のつどいコンサートを開催し、また、二次資料の写真資料等の貸出も対応をいたしました。

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

平成26年度から指定管理業務として施設管理運営業務が新たに加わりました。施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理に努め、必要な修繕を実施しました。

また、貴重な所蔵作品や資料を、永く後世に伝えてゆくために、展示および収蔵環境を良好な状態に確保するために、環境調査を実施し、これをもとに適切な収蔵環境とすべく、日常的に状態を把握し、収蔵環境の保全に努めました。

年間を通して、展示や施設に関するアンケートを実施し、来館者の意見を取り入れ、満足度の高い施設を提供するように努めました。

イ 実篤公園日常管理

平成26年度から新たに実篤公園の日常管理を市の緑と公園課より受託しました。実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。公開業務に関する業務のほか、清掃や警備など公園と旧実篤邸の施設の日常管理を行ない、公園の樹木や園路、施設の状況を把握し、必要に応じて緑と公園課に報告するとともに、協力して対応に努めました。

(9) 平成26年度の総括

平成26年度から実篤記念館は市の指定管理者制度が導入されました。これに伴い、財団は指定管理者に選定され、これまでの事業運営に加え、施設の管理運営も担うことになりました。魅力ある事業展開と施設の機能を十分に活かしながら、効率的・効果的な運営を進めるとともに、実篤公園の日常管理業務も受託し、記念館と実篤公園を一体的に管理運営することで、利用者サービスの向上を図りました。こうしたことから、平成26年度は記念館の開館以来、実篤公園を含めて年間の利用者数が過去最多の記録となりました。

事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、展示事業を中心に展開してまいりました。平成26年度は、特に普及事業で夏休み期間の自由研究サポートの運営方法を新らしくしたことから、魅力ある事業となり、子どもも大人も利用者が大幅に伸び、「何度でも来たくなる実篤記念館」として、多くの利用者を受け入れられた成果であったと考えられます。

また、記念館事業や実篤公園の積極的な広報活動により、「ヒカリモ」の報道を始め多くの報道機関に取り上げられ、記念館の周知につながったことも、利用者増に結実しました。

今後も利用者ニーズを敏感に取り入れながら、事業の広報活動に努め、事業活動の更なる充実に取り組んでまいります。

施設の管理運営では、初年度であることから業務を滞りなく進めてゆくことを中心に心がけました。記念館は開館から30年となることから施設や設備の劣化、老朽化による修繕が多く発生しており、緊急時の対応とともに、市との緊密な連携を図ることで芸術文化施設として安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理に努めてまいります。

人材育成では専門性を高めるために、若手の学芸員が総合的な力を身に付けるため展示事業を担当することで、ベテラン職員の指導を受けながら力をつけてきました。また、知識や展示、表現方法の技術の継承も行い、学芸員の質の向上を図りました。

2 事業内容

(1) 展示事業

事業名	実施日	入場者	備考
春季展「実篤の眼 人間を描く」 ～愛蔵品と作品から～	平成26年3月8日～4月13日	大人289人, 子ども21人 計310人	12日 (4月分のみ)
特別展「美の宝庫」～油井コレクションに見る実篤作品～	平成26年4月26日～6月8日	大人1,611人, 子ども149人 計1,760人	38日
企画展「この道を歩く」～詩と 言葉～	平成26年6月14日～7月13日	大人947人, 子ども53人 計1,000人	26日
夏休み企画「もっと知りたい武 者小路実篤」	平成26年7月19日～9月7日	大人1,122人, 子ども400人 計1,522人	44日
秋季展「美術遍歴」	平成26年9月13日～10月26日	大人1,058人, 子ども42人 計1,100人	38日
移動展「河野通勢～その描写と 想像の世界」(たづくり1階展示室)	平成26年10月4日～11月9日	計2,331人 (大人・子ども合計)	38日
特別展「父・実篤の周辺で～家 族の物語」	平成26年11月1日～12月7日	大人1,088人, 子ども36人 計1,124人	33日
企画展「わき出づる泉～実篤の 出版活動」	平成26年12月20日～平成27 年1月25日	大人509人, 子ども35人 計544人	27日
企画展「筆蹟に見る個性～実篤 の交友」	平成27年1月31日～3月1日	大人763人, 子ども42人 計805人	26日
春季展「野菜の美」	平成27年3月7日～4月12日	大人498人, 子ども165人 計663人	21日 (3月分のみ)

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

25件52回

事業名	講師	開催日	会場	参加者
展示解説「実篤の眼 人間を描く」 ～愛蔵品と作品から～	財団職員	平成26年4月5日	実篤記念館	10人
春の自然観察会	富田 広	平成26年4月12日	実篤公園と周辺緑地	24人
展示解説「美の宝庫」～油井コ レクションにみる実篤作品～	財団職員	平成26年5月25日	実篤記念館	21人
つつじヶ丘歴史散歩 ～野川中流域を歩く～	山岡 博	平成26年5月22日	つつじヶ丘駅～喜多 見不動	16人
ワンコイン講座「武者小路実篤 入門」	財団職員	平成26年5月29日	実篤記念館	18人
作ってみよう！梅ジャム	財団職員	平成26年6月14日 ・15日	実篤記念館中庭・ 東部公民館調理室	42人

ワンコイン講座「実篤記念館を知る～活動とバックヤードツアー～」	財団職員	平成26年6月26日	実篤記念館閲覧室・地下収蔵庫・旧実篤邸	15人
展示解説「この道を歩く」～詩と言葉～	財団職員	平成26年7月6日	実篤記念館	25人
ワンコイン講座「実篤記念館のボランティアとは」	田島 誠・財団職員	平成26年7月10日	実篤記念館閲覧室	10人
夏休み自由研究サポート	財団職員・ボランティア	平成26年7月23日～8月20日	実篤記念館閲覧室・実篤公園	294人
「作ってみよう！私だけの本」(全3回)	田尾明敏 岡野暢夫	平成26年8月2日・3日・7日	実篤記念館 東部公民館	14人
「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」	ボランティア・財団職員	平成26年8月15日・16日	実篤記念館 休憩コーナー	71人
《特別編》「実篤に挑戦！～うちわに筆と墨で絵をかこう～」(2回実施)	菱沼陽士女 (ひしぬま ひとめ)	平成26年8月17日	実篤記念館 休憩コーナー	32人
展示解説「もっと知りたい 武者小路実篤」	財団職員	平成26年8月24日	実篤記念館	11人
読書講座「武者小路実篤と論語」	瀧田 浩	平成26年9月27日	実篤記念館	16人
ギャラリートーク「河野通勢の魅力」	財団職員	平成26年10月4日	たづくり 1階展示室	16人
ワークショップ「文庫本をハードカバーにしよう！」	岡野暢夫	平成26年10月8日	たづくり 11階第二創作室	15人
講座「河野通勢の聖書画を読み解く」	町田俊之	平成26年10月18日	たづくり 10階1001学習室	34人
展示解説「美術遍歴」	財団職員	平成26年10月19日	実篤記念館	5人
ギャラリートーク「河野通勢の魅力」	財団職員	平成26年11月1日	たづくり 1階展示室	12人
講演会「河野通勢に見る 文学の挿絵」	岩切信一郎	平成26年11月8日	たづくり 映像シアター	37人
展示解説「父・実篤の周辺で」	財団職員	平成26年11月9日	実篤記念館	11人
講演会「祖父・武者小路実篤の思い出」	武者小路知行	平成26年11月16日	東部公民館	36人
秋の自然観察会	富田 広	平成26年11月30日	実篤公園と周辺緑地	15人
平成27年度記念事業用映画「愛と死」フィルム上映(確認作業)	財団職員	平成26年12月8日	たづくり くすのきホール	18人 関係者
展示解説「わき出づる泉」	財団職員	平成27年1月18日	実篤記念館	11人

ワンコイン講座「実篤記念館を知る～活動とバックヤードツアー～」	財団職員	平成27年1月24日	実篤記念館閲覧室・地下収蔵庫・旧実篤邸	10人
製本講座<初級編>	岡野暢夫	平成27年2月4日	東部公民館 学習室	15人
ワンコイン講座「武者小路実篤入門」	財団職員	平成27年2月14日	実篤記念館	14人
展示解説 「筆蹟に見る個性」	財団職員	平成27年2月15日	実篤記念館	11人
親子講座「作ってみよう！植物で布を染める」	松田研二	平成27年3月29日	実篤公園 東部公民館	17人
団体解説（予約制）	財団職員	年間20回	実篤記念館	372人

イ 学校教育との連携事業

(7) 学校教育

事業名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者
展覧会見学	平成26年5月29日・30日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（4年生）	62人
実篤公園見学	平成26年5月8日・9日・13日・23日	実篤公園	桐朋学園大学	61人
実篤公園見学	平成26年5月14日	実篤公園	桐朋女子高校	16人
実篤公園見学	平成26年5月30日	実篤公園	調布市立滝坂小学校（2年生）	52人
実篤公園見学	平成26年6月3日	実篤公園	桐朋学園大学	10人
実篤公園見学	平成26年6月4日	実篤公園	桐朋女子高校	10人
展覧会見学	平成26年6月4日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（4年生）	31人
実篤公園写生	平成26年6月4日・13日・17日	実篤公園	調布市立若葉小学校（5年生）	112人
実篤公園見学	平成26年6月10日	実篤公園	桐朋小学校（3年生）	41人
社会科見学	平成26年6月27日	実篤記念館	調布市立若葉小学校（3年生）	5人
実篤公園写生	平成26年7月1日	実篤公園	調布市立若葉小学校（5年生）	2人
職場体験	平成26年7月1日～4日	実篤記念館	調布市立調布中学校（2年生）	3人
実篤公園写生 児童作品展示	平成26年8月5日～14日	実篤記念館	調布市立若葉小学校 （5年生）	20人 (20点)
実篤公園写生 作品展示見学	平成26年8月5日～14日	実篤記念館	調布市立若葉小学校	7人
職場体験	平成26年9月2日～5日	実篤記念館	調布市立第五中学校（2年生）	2人
職場体験	平成26年9月2日～5日	実篤記念館	調布市立第八中学校（2年生）	2人
公園散策	平成26年10月29日	実篤記念館	桐朋学園（高校生）	14人
校内展示 「武者小路実篤 の人と作品」	平成26年12月11日～19日	調布市立第六中学校 図書室	調布市立第六中学校	

公園散策	平成26年12月25日	実篤記念館	桐朋学園(大学生)	10人
記念館見学	平成27年1月16日	実篤記念館	桐朋女子高校(3年生)	19人
卒業年次生のための武者小路実篤講座・見学	平成27年3月11日	調布市立第四中学校, 実篤記念館	調布市立第四中学校(3年生)	103人
公園散策	平成27年3月19日	実篤記念館	桐朋小学校2年生	25人
学校向けパネル作成(7点)				

(i) 実習生受入

事業名	実施期間	場所	参加者
博物館実習(実践女子大学, 日本大学)	平成26年8月1日～8日	実篤記念館	2人

*選考: 応募者数 3人より選考

(ii) 講師派遣

なし

ウ ボランティア事業

ボランティア登録者 29人(平成27年3月31日現在)

*4月26人, 7月新規登録1人, 8月新規登録1人, 10月辞退1人, 2月辞退1人, 3月新規登録3人

活動内容	活動日数	活動者	利用者
環境整備グループ(植物手入れ, 旧邸・館内防虫対策)	28日	延べ154人	
普及事業グループ(事業補助)	34日	延べ168人	
ガイドグループ(ボランティアガイド)	43日	延べ137人	547人
その他(連絡会・総会)	19日	延べ123人	

エ 友の会事業

平成26年度友の会会員数77人(賛助会員:9人, 一般会員68人)

平成27年3月31日現在

事業名	内容	発行日・開催日	会場	参加者
友の会ニュース発行	事業や実篤関連情報を提供	年6回(隔月発行)		
友の会交流会	紙芝居「桃源にて」上演と解説, 会員の懇談	平成27年2月22日	東部公民館	15人

オ 広報事業

(7) 広報資料の作成・配布

事業内容	対象	件数
調布市広報課提出（市報原稿，市ツイッター）	一般	74件
広報リリース作成，情報提供	新聞社，テレビ局，インターネット情報サイト	103件
取材対応	新聞社，テレビ局，出版社，インターネット情報サイト	154件
事業広報用簡易ポスター作成，掲示	一般	69件
事業広報用簡易チラシ作成，配布	一般	17件
秋の特別展「父・実篤の周辺で」ポスター・チラシ作成，掲示，配布	一般	1件
市制施行60周年・開館30周年・実篤生誕130周年記念 特別展「一人の男」ポスター作成	一般	1件
市制施行60周年・開館30周年 記念事業広報用チラシ（A4版4ページ）作成	一般	1件

(i) 印刷物編集・刊行事業

資料名	種別	対象	発行	部数	備考
春の特別展「美の宝庫」～油井コレクションに見る実篤作品～ パンフレット	図録	一般	平成26年4月	1,000部	有償頒布
解説シート「もっと知りたい 武者小路実篤」No. 46～48	解説シート	一般 子ども	平成26年7月	各5,000部	無料配布
記念館館報「美愛真」第27号	館報	一般	平成26年9月	3,000部	無料配布
秋の特別展「父・実篤の周辺で～家族の物語」 パンフレット	図録	一般	平成26年11月	1,000部	有償頒布
記念館館報「美愛真」第28号	館報	一般	平成27年3月	3,000部	無料配布
平成27年度版 展示案内	パンフレット	一般	平成27年3月	20,000部	無料配布
実篤記念館・公園案内リーフレット	案内	一般	平成27年3月	20,000部	無料配布

(ii) ホームページ

活動内容	対象	件数等
武者小路実篤主宰新しき村機関誌・関連雑誌目次データ公開	一般	93年分公開
ホームページ（毎月更新・臨時更新） ～事業告知，所蔵品データベース，キッズコーナー，資料データ，財団情報公開等～	一般	14回 年間アクセス数 2,135,352件

(I) ぐるっとパス事業

事業名	内容	件数等
ぐるっとパス2014年広報	ぐるっとパス2014年ポスター・チラシへの情報の提供と、参加館や公共交通機関等で掲示・配布	年間3件
	ぐるっとパスブログ掲載情報提供	毎月1回 *平成26年11月開設
	新聞、雑誌、テレビ、WEB等での掲載	年間55件
ぐるっとパス2014利用者	ぐるっとパス2014年の利用者数	607人
ぐるっとパス2014販売数	ぐるっとパス2014年の窓口販売数	14件

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集

資料区分	寄贈	購入	寄託	合計
美術品	2,937点	0点	0点	2,937点
図書・雑誌	2,144点	129点	0点	2,273点
関連作品・資料	1,374点	12点	0点	1,386点
原稿	18点	0点	0点	18点
書簡	692点	0点	0点	692点
写真	937点	51点(複写)	0点	988点
映像資料	0点	1点(制作)	0点	1点
(総計)	8,102点	193点	0点	8,295点

※平成27年3月31日現在の収蔵品点数 60,144点

※映像制作「実篤公園の四季」(6分51秒) 平成27年3月

イ 資料管理

種別	件数	点数	主な利用内容	期間
作品・資料貸出	7件	35点	世田谷美術館ほか1館 「岸田吟香・劉生・麗子-知られざる精神の系譜」展 貸出美術品等計23点	平成26年1月25日～ 6月7日
			宮城県立美術館「洲之内徹と現代画廊」展 貸出美術品2点	平成25年10月15日～ 平成26年6月15日
			そごう美術館ほか1館 「黒田辰秋の世界」展 貸出美術品2点	平成26年1月23日～ 6月27日
			三重県立美術館「ア・ターナブル!-ごはんだよ!食をめぐる美の饗宴」展 貸出美術品1点	平成26年2月14日～ 5月18日
			足利市立美術館、栃木県立美術館「河野次郎と明治・大正の画人ネットワーク」展 貸出美術品3点	平成26年8月28日～ 平成27年3月27日

			横須賀美術館「おいしいアート 食と美術の出会い」展 貸出美術品1点	平成26年9月14日～11月7日
			栃木県立美術館「河野次郎と明治・大正の画人ネットワーク」 貸出美術品3点	平成26年12月24日～平成27年3月27日
写真資料貸出	14件	30点	源吉兆庵美術館「武者小路実篤展」、小国英雄映画祭実行委員会「生誕110年記念八戸出身脚本家小国英雄映画祭」、菁柿堂 米山禎一著作出版用ほか、日本経済新聞「美の美」、読売新聞社文化部周作人関連記事ほか	
特別撮影	11件	17点	大塚国際美術館ゴッホ「向日葵」陶板作成およびグッズ作成関連ほか	

(4) 資料整理・保存事業

ア 整理・保存

作業区分	内容	作業件数	備考
所蔵リスト照合	全件リストと資料現物の照合作業	資料2,124件	
	全件リストと資料現物の再照合作業	資料1,051件	
	全件リストと所蔵品カードの照合作業	資料19,279件	
図書・逐次刊行物資料現物確認	データベースと資料現物の照合	1,681件	
写真整理	春の特別展「美の宝庫」資料写真整理	132点	
資料撮影	特別展2回、新収蔵作品・資料1回	作品・資料	
	河野通勢素描作品2回	195点	
保存	保存箱作成図書選定及び採寸	100点	
	保存箱タイトルラベル校正	100点	
	美術品額装・中性紙箱作成	4点	
	額アクリル入れ替え・中性紙箱作成	1点	
	美術品額中性紙額保存箱作成	12点	
温湿度管理	温湿度計チェック(数値確認)	毎日	地下書庫 1台分
	温湿度計データ吸い上げ(展示替え時)	7回	展示室 3台分
	温湿度計追加設置		展示室 2台
加湿器・除湿器清掃	加湿器清掃	毎月1回	5台
ケース清掃	クロス拭き	毎日	
ケース清掃用クロス洗濯	クロス洗濯	毎週1回	48回
文化財害虫侵入防止措置	隙間塞ぎブラシ・テープ張替え	1回	7箇所
燻蒸消毒準備	図書収蔵蔵内書架組み替え	11面	
資料保存に関する周知	虫菌害に関する館内通信発行	12件	

イ 所蔵作品・資料等の修復、複製制作等

作業区分	内容	作業件数	備考
複製	武者小路実篤「一人の男」原稿 第262章冒頭1枚	原稿1件	

ウ 収蔵品データベースの充実

作業区分	内容	作業件数	備考
収蔵品データベース データ整備	収蔵品データベース（データの追加、修正作業）	資料6,093件 (新規2,013件)	
収蔵品データベース登録件数	平成27年3月末データベース登録件数	38,783件	
収蔵品データベース利用件数	平成26年度データベース利用件数	2,136,679件	

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

(7) 一般閲覧

月	開室日数	利用者数			レファレンス受付件数		
		室利用者	情報提供システム	収蔵品検索システム	カウンター受付	電話、Eメール等受付	小計
4月	23日	291人	150人	13人	96件	18件	114件
5月	21日	505人	199人	12人	113件	22件	135件
6月	22日	509人	281人	24人	109件	33件	142件
7月	23日	363人	135人	19人	79件	11件	90件
8月	22日	376人	209人	22人	60件	15件	75件
9月	21日	290人	134人	8人	43件	13件	56件
10月	23日	372人	139人	10人	96件	17件	113件
11月	21日	327人	133人	9人	126件	16件	142件
12月	22日	221人	74人	5人	87件	10件	97件
1月	21日	228人	97人	2人	106件	15件	121件
2月	19日	249人	90人	8人	85件	15件	100件
3月	22日	370人	143人	52人	110件	13件	123件
計	260日	4,101人	1,784人	184人	1,110件	198件	1,308件
前年度	249日	3,949人	1,355人	133人	1,119件	182件	1,301件

(i) 特別閲覧

月	件数	点数	主な利用内容	備考
11月	1件	2点	「かちかち山」原稿、「花咲翁」原稿	信州大学研究生
12月	1件	167点	河野通勢関連写真資料	小金井市立はげの森美術館

イ 情報公開事業

事業区分	事業内容	実施時期
情報提供システムの運用	コンテンツの充実, 機器の保守管理, 運用促進 「実篤公園の四季」(6分51秒)の追加	随時 平成27年3月

(6) 調査・研究事業

調査名	調査内容	調査場所	件数
平成26年度秋の特別展「父・実篤の周辺で」資料調査	木村錦子氏所蔵分資料調査	実篤記念館	絵画・資料・21件
平成26年度秋の特別展「父・実篤の周辺で」資料調査	武者小路知行氏所蔵分資料調査	実篤記念館	絵画・資料・72件
秋季展「美術遍歴」収蔵品調査	武者小路実篤愛蔵品(収蔵品)資料調査	実篤記念館	実篤愛蔵品127件
平成26年度秋の特別展「父・実篤の周辺で」資料調査	武者小路信和氏所蔵分資料調査	実篤記念館	絵画・資料12件
平成26年度秋の特別展「父・実篤の周辺で」資料調査	河村有紀子氏所蔵分資料調査	実篤記念館	絵画・資料・写真 13件
河野通勢関係作品・資料調査 (たづくり移動展準備)	収蔵河野通勢の未整理挿絵下 図調査	実篤記念館	素描68件
平成26年度秋の特別展「父・実篤の周辺で」資料調査	池田正嗣氏所蔵分資料調査	実篤記念館	20件
河野通勢関係作品・資料調査 (たづくり移動展準備)	収蔵河野通勢の未整理挿絵下 図調査	実篤記念館	1,557件
平成27年度春の特別展資料調査	川内まごころ文学館所蔵資料 (DVD)調査	国会図書館	DVD 1件 (126カット)
平成27年度春の特別展資料調査	日本近代文学館所蔵資料調査	日本近代文学館	資料カード・データ 134件
個人所蔵武者小路実篤関連書簡 調査	池田正嗣氏所蔵資料調査(実 篤1点, 梅原龍三郎2点)	実篤記念館	3件
平成27年度春の特別展資料調査	国会図書館所蔵資料調査	国会図書館	マイクロフィルム・ 縮刷版89件
平成27年度春の特別展資料調査	新聞博物館所蔵資料調査	新聞博物館	マイクロフィルム・ 縮刷版46件
平成27年度春の特別展資料調査	日本近代文学館所蔵資料調査	日本近代文学館	特別資料15件
平成27年度春の特別展資料調査	神奈川近代文学館所蔵資料調 査	神奈川近代文学 館	特別資料48件
平成27年度春の特別展資料調査	日本近代文学館所蔵資料追加 調査	日本近代文学館	特別資料2件

平成27年度春の特別展資料調査	川内まごころ文学館所蔵資料 (自筆原稿) 調査	川内まごころ文 学館	原稿・書簡9件 (246枚)
平成27年度春の特別展資料調査	国会図書館所蔵資料調査	国会図書館	マイクロフィルム 4件
春季展「野菜の美」収蔵品調査	武者小路実篤書画 (収蔵品) 資料調査	実篤記念館	49件
個人所蔵武者小路実篤書画調査	武者小路実篤書画無車会取り 扱い作品資料調査	実篤記念館	3点
所蔵書簡翻刻	所蔵書簡翻刻	実篤記念館	40点
武者小路実主宰新しき村機関 誌・関連雑誌目次データ (93年 間分) 校正	目次データ校正	実篤記念館	93年間分

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

事業内容	制作時期	制作数	備考
絵葉書 (新規3種, 増刷4種)	平成26年9月	計8,000枚	
風呂敷	平成26年10月	147枚	
ブックカバー (3枚1組)	平成27年1月	500組	
2015年版限定チョコレート (2種) 新規制作	平成27年1月	計3,000個	
2015年版限定クッキー (2種) 新規制作	平成27年1月	計1,000個	
クリアファイル (2種)	平成27年3月	計1,000枚	

イ 広告料の確保

事業名	場所	開催日	件数
案内看板の広告	実篤記念館東ロータリー側	平成26年4月1日～27年3月31日	2件

ウ 自主事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者
朗読会「実篤を聴く Part. 14」	演出：川和孝, 朗読：井ノ口勲, 根岸光太郎, 吉田幸矢	平成27年1月25日	たづくり8階 映像シアター	74人
「観梅のつどい」コ ンサート	演奏：邦楽アンサンブル花筏・桐 朋学園大学音楽学部学生	平成27年2月22日	実篤記念館	43人

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤記念館施設管理運営業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日	利用者総数 9,451人	開館日数 308日

イ 実篤公園日常管理

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤公園日常管理業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日	利用者総数 24,934人	開園日数 308日
旧実篤邸公開業務	平成26年4月1日～平成27年3月31日	利用者総数 5,020人	公開日数 103日

3 平成26年度調布市武者小路実篤記念館利用状況

(1) 実篤記念館利用者数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

記念館開館日数 308日
 公園開園日数 308日
 旧邸公開日数 103日

(人)

月	記念館										小計	公園		小計	合計	旧邸公開日
	大人					子ども						大人計	子ども計			
	有料一般	有料割引	65才以上	その他	ぐるっとパス	計	有料一般	有料割引	その他	計						
4	248	75	87	113	26	549	11	0	21	32	581	1,809	777	2,586	3,167	486
5	688	2	115	161	84	1,050	12	0	85	97	1,147	2,427	779	3,206	4,353	826
6	748	68	114	169	50	1,149	15	0	65	80	1,229	2,345	583	2,928	4,157	474
小計	1,684	145	316	443	160	2,748	38	0	171	209	2,957	6,581	2,139	8,720	11,677	1,786
7	466	48	57	98	37	706	55	0	40	95	801	1,422	313	1,735	2,536	332
8	503	7	38	127	34	709	165	0	137	302	1,011	1,108	309	1,417	2,428	380
9	352	24	66	91	72	605	6	0	32	38	643	1,149	241	1,390	2,033	411
小計	1,321	79	161	316	143	2,020	226	0	209	435	2,455	3,679	863	4,542	6,997	1,123
10	369	74	48	113	66	670	12	0	12	24	694	1,376	474	1,850	2,544	337
11	561	14	49	235	53	912	9	0	23	32	944	2,234	524	2,758	3,702	528
12	153	67	48	114	29	411	3	0	15	18	429	1,079	440	1,519	1,948	260
小計	1,083	155	145	462	148	1,993	24	0	50	74	2,067	4,689	1,438	6,127	8,194	1,125
1	219	23	34	133	50	459	5	0	24	29	488	1,136	355	1,491	1,979	305
2	385	9	74	194	62	724	8	0	28	36	760	1,266	520	1,786	2,546	401
3	287	26	37	162	44	556	19	0	149	168	724	1,538	730	2,268	2,992	280
小計	891	58	145	489	156	1,739	32	0	201	233	1,972	3,940	1,605	5,545	7,517	986
合計	4,979	437	767	1,710	607	8,500	320	0	631	951	9,451	18,889	6,045	24,934	34,385	5,020
前年度合計	4,402	917	563	745	532	7,159	236	6	533	775	7,934	16,503	5,327	21,830	29,764	4,859
増減	577	△480	204	965	75	1,341	84	△6	98	176	1,517	2,386	718	3,104	4,621	161
前年度比(%)	13.1	△52.3	36.2	129.5	14.1	18.7	35.6	△100.0	18.4	22.7	19.1	14.5	13.5	14.2	15.5	3.3

4 役員・会議に関する事項

(1) 役員名簿（平成27年3月31日現在）

ア 理事及び監事

役員名	氏名
理事長	福田 宏
常務理事	塚越 博道
理事	宇津木 光次郎
理事	柏原 公毅
理事	稲川 昭三郎
理事	安本 登喜子
監事	新井 七吾
監事	小柳 栄

イ 評議員

氏名
武者小路 知行
浅井 京子
瀧田 浩
小西 聡
新井 富一

(2) 会議の開催

ア 理事会

開催年月日	件名	議決結果
平成26年5月2日	・平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告について	承認
	・平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算について	承認
	・調布市議会への経営状況報告について	報告
平成26年11月5日	・平成26年度一般財団法人調布市武者小路記念館補正予算（第1号）（案）について	承認
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館積立金規程の制定について	報告
	・上半期事業報告について	報告
	・平成27年度職員採用について	報告
平成27年3月26日	・専決処分について	承認
	・平成26年度一般財団法人調布市武者小路記念館補正予算（第3号）（案）について	承認
	・平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画(案)について	承認
	・平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算(案)について	承認

イ 評議員会

開催年月日	件 名	議決結果
平成26年5月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告について ・ 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算について ・ 調布市議会への経営状況報告について 	<p>可決 承認 承認 報告</p>
平成26年11月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路記念館補正予算（第1号）（案）について ・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館積立金規程の制定について ・ 上半期事業報告について ・ 平成27年度職員採用について 	<p>可決 報告 報告 報告</p>
平成27年3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 専決処分について ・ 平成26年度一般財団法人調布市武者小路記念館補正予算（第3号）（案）について ・ 平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画(案)について ・ 平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算(案)について 	<p>可決 報告 報告 報告 報告</p>

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収 支 計 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

1 一般会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	基本財産運用収入	1,000	7,278	△ 6,278	
	1 基本財産運用収入	1,000	7,278	△ 6,278	
2	補助金等収入	73,151,000	73,151,000	0	
	1 人件費補助金収入	63,391,000	63,391,000	0	
	2 事務費補助金収入	9,760,000	9,760,000	0	
3	指定管理料収入	24,744,000	24,744,000	0	
	1 指定管理料	24,744,000	24,744,000	0	
4	受託事業収入	5,566,000	5,566,000	0	
	1 受託事業（実篤公園日常管理）	5,566,000	5,566,000	0	
5	利用料金収入	1,350,000	1,213,562	136,438	
	1 利用料	1,250,000	1,167,500	82,500	
	2 頒布料	100,000	46,062	53,938	
6	諸収入	4,910,000	5,355,865	△ 445,865	
	1 事業参加費	100,000	113,070	△ 13,070	
	2 友の会会費	50,000	110,500	△ 60,500	
	3 雑収入	50,000	422,527	△ 372,527	
	4 繰入金	4,710,000	4,709,768	232	
事業活動収入計 (A)		109,722,000	110,037,705	△ 315,705	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	管理費支出	77,861,000	75,631,491	2,229,509	
	1 人件費支出	63,391,000	62,253,634	1,137,366	
	職員給料	20,762,000	20,761,200	800	
	職員諸手当	14,838,000	14,837,446	554	
	嘱託報酬	11,620,000	11,442,765	177,235	
	臨時職員給料	6,256,000	6,015,225	240,775	
	臨時職員諸手当	430,000	250,374	179,626	
	社会保険料	8,100,000	7,670,684	429,316	
	福利厚生費	77,000	73,785	3,215	
	負担金	1,084,000	1,083,500	500	
	旅費	224,000	118,655	105,345	
	2 事務費支出	14,470,000	13,377,857	1,092,143	
	報酬	870,000	795,000	75,000	

	一般需用費	1,502,000	1,399,867	102,133	
	食糧費	7,000	6,876	124	
	役務費	1,872,000	1,552,928	319,072	
	委託料	2,079,000	2,061,228	17,772	
	使用料及び賃借料	2,433,000	2,142,900	290,100	
	交際費	40,000	13,747	26,253	
	負担金	282,000	240,000	42,000	
	資料購入費	369,000	368,721	279	
	公租公課	236,000	16,822	219,178	
	繰出金	4,780,000	4,779,768	232	
2	事業費支出	16,566,000	16,273,170	292,830	
1	普及促進事業費支出	10,679,000	10,473,646	205,354	
	報償費	365,000	347,511	17,489	
	一般需用費	3,897,000	3,805,358	91,642	
	役務費	2,257,000	2,222,620	34,380	
	委託料	4,010,000	4,007,624	2,376	
	使用料及び賃借料	150,000	90,533	59,467	
2	資料管理事業費支出	1,634,000	1,568,231	65,769	
	一般需用費	579,000	575,658	3,342	
	役務費	30,000	1,543	28,457	
	委託料	1,025,000	991,030	33,970	
3	情報提供システム事業費支出	4,253,000	4,231,293	21,707	
	一般需用費	23,000	11,280	11,720	
	委託料	1,200,000	1,196,640	3,360	
	使用料及び賃借料	3,030,000	3,023,373	6,627	
3	施設管理費支出	15,245,000	15,172,966	72,034	
1	施設管理運営事業費	9,679,000	9,647,974	31,026	
	一般需用費	5,384,000	5,383,105	895	
	役務費	172,000	167,407	4,593	
	使用料及び賃借料	533,000	528,936	4,064	
	委託料	3,590,000	3,568,526	21,474	
2	実篤公園管理事業費	5,566,000	5,524,992	41,008	
	委託料	5,566,000	5,524,992	41,008	
	事業活動支出計 (B)	109,672,000	107,077,627	2,594,373	
	事業活動収支差額 (C) 《(A)-(B)》	50,000	2,960,078	△ 2,910,078	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

Ⅲ 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	2,960,078	△ 2,960,078	
	1 返還金	0	2,960,078	△ 2,960,078	
	財務活動収支差額 (E)	0	△2,960,078	2,960,078	

Ⅳ 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	予備支出 (F)	50,000	0	50,000	

当期収支差額 (C+D+E-F)	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	0	0

2 特別会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	自主事業収入	4,101,000	4,894,857	△ 793,857	
	1 自主事業収入	80,000	0	80,000	
	2 物品販売収入	3,700,000	4,435,198	△ 735,198	
	3 諸収入	320,000	459,428	△ 139,428	
	4 預金利子	1,000	231	769	
	事業活動収入計 (A)	4,101,000	4,894,857	△ 793,857	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
2	自主事業費支出	4,101,000	3,952,186	148,814	
	1 積立金支出	10,000	0	10,000	
	2 物品販売事業費支出	3,621,000	3,540,463	80,537	
	消耗品費	119,000	100,649	18,351	
	商品仕入費	2,870,000	2,857,665	12,335	
	著作権使用料	100,000	80,483	19,517	
	役務費	66,000	65,893	107	
	広告宣伝費	100,000	88,328	11,672	
	公租公課	366,000	347,445	18,555	
	3 自主事業費	470,000	411,723	58,277	
	事業活動支出計 (B)	4,101,000	3,952,186	148,814	
	事業活動収支差額 (C) 《 (A) - (B) 》	0	942,671	△ 942,671	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

III 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額 (E)	0	0	0	

IV 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備 考
大	中				
1	予備費支出 (F)	0	0	0	

当期収支差額 (G) 《C+D+E-F》	0	942,671	△ 942,671	
前期繰越収支差額 (H)	0	1,101,342	△ 1,101,342	
次期繰越収支差額 (G+H)	0	2,044,013	△ 2,044,013	

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
正味財産増減計算書
 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

事業全体

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
1 経常収益			
基本財産運用益	7,278		
基本財産運用収入	7,278		
補助金等	73,151,000		
人件費補助金収入	63,391,000		
事務費補助金収入	9,760,000		
指定管理料	24,744,000		
指定管理料	24,744,000		
受託事業収入	5,566,000		
受託事業（実篤公園日常管理）	5,566,000		
利用料金収入	1,213,562		
利用料	1,167,500		
頒布料	46,062		
諸収入	5,355,865		
事業参加費	113,070		
友の会会費	110,500		
雑収入	422,527		
繰入金	4,709,768		
自主事業収入	4,894,857		
自主事業収入	0		
物品販売収入	4,435,198		
諸収入	459,428		
預金利子	231		
経常収益計（A）	114,932,562		
2 経常費用			
管理費	75,631,491		
人件費	62,253,634		
職員給料	20,761,200		
職員諸手当	14,837,446		
嘱託報酬	11,442,765		
臨時職員給料	6,015,225		
臨時職員諸手当	250,374		
社会保険料	7,670,684		
福利厚生費	73,785		
負担金	1,083,500		
旅費	118,655		
事務費	13,377,857		
報酬	795,000		

一般需要費	1,399,867		
食糧費	6,876		
役務費	1,552,928		
委託料	2,061,228		
使用料及び賃借料	2,142,900		
交際費	13,747		
負担金	240,000		
資料購入費	368,721		
公租公課	16,822		
繰出金	4,779,768		
事業費	16,273,170		
普及促進事業費	10,473,646		
報償費	347,511		
一般需用費	3,805,358		
役務費	2,222,620		
委託料	4,007,624		
使用料及び賃借料	90,533		
資料管理事業費	1,568,231		
一般需用費	575,658		
役務費	1,543		
委託料	991,030		
情報提供システム事業費	4,231,293		
一般需用費	11,280		
委託料	1,196,640		
使用料及び賃借料	3,023,373		
施設管理費	15,172,966		
施設管理運営事業費	9,647,974		
一般需用費	5,383,105		
役務費	167,407		
使用料及び賃借料	528,936		
委託料	3,568,526		
実篤公園管理事業費	5,524,992		
委託料	5,524,992		
自主事業費	3,952,186		
積立金	0		
物品販売事業費	3,540,463		
消耗品費	100,649		
商品仕入費	2,857,665		
著作権使用料	80,483		
役務費	65,893		
広告宣伝費	88,328		
公租公課	347,445		
自主事業費	411,723		
経常費用計 (B)	111,029,813		
評価損益等調整前当期経常増減額	3,902,749		
評価損益等計	0		
当期経常増減額 (C) 《(A)-(B)》	3,902,749		

2	経常外増減の部			
	1 経常外収益			
	経常外収益計		0	
	2 経常外費用			
	その他経常外費用		0	
	予備費		0	
	経常外費用計		0	
	当期経常外増減額		0	
	返還金		△ 2,960,078	
	当期一般正味財産増減額		942,671	
	一般正味財産期首残高		1,101,342	
	一般正味財産期末残高 (D)		2,044,013	
II	指定正味財産増減の部			
	1 寄付金		4,779,768	
	寄付金		4,779,768	
	当期指定正味財産増減額		4,779,768	
	指定正味財産期首残高		0	
	指定正味財産期末残高 (E)		4,779,768	
III	基本金増減の部			
	当期基本金増減額		0	
	基本金期首残高		3,000,000	
	基本金期末残高 (F)		3,000,000	
IV	正味財産期末残高 (G) 《(D) + (E) + (F)》		9,823,781	

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金	21,113,897	21,573,782	△ 459,885
小口現金	120,014	0	120,014
普通預金	16,284,115	21,573,782	△ 5,289,667
定期預金	4,709,768	0	4,709,768
2 未収金	670,529	821,900	△ 151,371
3 商品	915,744	933,771	△ 18,027
流動資産合計	22,700,170	23,329,453	△ 629,283
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
2 その他固定資産			
リース資産	10,806,453	12,844,885	△ 2,038,432
その他固定資産合計	10,806,453	12,844,885	△ 2,038,432
固定資産合計	13,806,453	15,844,885	△ 2,038,432
資産合計	36,506,623	39,174,338	△ 2,667,715
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用	12,139,025	20,118,503	△ 7,979,478
2 預り金	3,389,964	1,776,108	1,613,856
3 未払法人税等	347,400	333,500	13,900
4 リース債務	10,806,453	12,844,885	△ 2,038,432
流動負債合計	26,682,842	35,072,996	△ 8,390,154
負債合計	26,682,842	35,072,996	△ 8,390,154
III 正味財産の部			
1 基本金			
1 基本金	3,000,000	3,000,000	0
2 指定正味財産			
1 寄付金	4,779,768	0	4,779,768
指定正味財産合計	4,779,768	0	4,779,768
3 一般正味財産			
1 代替基本金	0	0	0
2 その他一般正味財産	2,044,013	1,101,342	942,671
一般正味財産合計	2,044,013	1,101,342	942,671
正味財産合計	9,823,781	4,101,342	5,722,439
負債及び正味財産合計	36,506,623	39,174,338	△ 2,667,715

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

財 産 目 録

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科目	目的等	金額		
I 資産の部				
1 流動資産				
1 現金預金				
小口現金		21,113,897		
普通預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	120,014		
	みずほ銀行調布仙川支店	15,075,960		
定期預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	1,208,155		
4,709,768				
2 未収金		670,529		
3 商品		915,744		
流動資産合計 (A)			22,700,170	
2 固定資産				
1 基本財産				
投資有価証券	SMBC日興証券(株) 平成24年度兵庫県市町共同公募債	3,000,000		
2 その他固定資産				
リース資産	業務用PC、コピー機等	10,806,453		
固定資産合計 (B)			13,806,453	
資産合計 (C) 《(A)+(B)》			36,506,623	
II 負債の部				
1 流動負債				
1 未払費用				
	事業支出34件	12,139,025		
	管理費支出51件	4,102,102		
		8,036,923		
2 預り金				
	源泉所得税 期末勤勉手当	3,389,964		
	住民税 3月分	58,530		
	社会保険料 3月分	73,900		
	市への返還金	297,456		
		2,960,078		
3 未払法人税等				
		347,400		
4 リース債務				
	事業用PC、コピー機等	10,806,453		
		10,806,453		
流動負債合計 (D)			26,682,842	
負債合計 (E)			26,682,842	
正味財産合計 (F) 《(C)-(E)》			9,823,781	

平成26年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

監査報告書

平成27年5月1日

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
理事長 福田 宏 様

一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館

監事 新井 七 吾

監事 小柳 栄

私たちは、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づき、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度における業務監査及び会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの適正性を確認した。
- (2) 業務監査について、理事会等に出席し、運営状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を確認した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準及び関係法令並びに、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当財団が別途保管しております。

1 基本方針

調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、昭和51年4月に武者小路実篤が死去した後、武者小路家より寄贈された愛蔵の美術品、遺品、図書等を基にして、文学、美術、演劇、思想など幅広い分野にわたり活躍した武者小路実篤の生涯をしのぶとともに、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という設立理念を掲げ、武者小路実篤生誕100年に当たる昭和60年10月に、調布市実篤公園（旧実篤邸を含む。以下「実篤公園」という。）に隣接する地に開館しました。

平成27年度は開館30周年を迎えます。この30年間、展示・普及活動をはじめ、資料整理・保存、調査・研究活動等の事業活動を通して、広く全国各地から多くの方々が来館され、小規模な博物館施設ながらも充実した事業内容で、各方面から高い評価をいただいております。

開館30周年を迎えるにあたり、これまでの実績と信頼を活かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点の一つとして、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、今後も良質で魅力ある事業を展開し、更なる飛躍の年としてまいります。

実篤記念館の設立理念に基づき、事業の円滑化、効率化及び継続性を図るために「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館」（以下「財団」という。）が平成25年4月に設立されてから3年目となります。また、平成26年4月からは事業運営と施設の管理運営を一体的に担う指定管理者制度が導入され、当財団が指定管理者となり、さらに、実篤公園の日常管理を調布市緑と公園課より受託し、2年目となります。引き続き、利用者の立場に立った運営に心がけ、施設の維持管理を通じて安全で快適な環境を整え、実篤記念館と実篤公園を効率的かつ柔軟な対応により、更に市民サービスの向上を図ってまいります。

財団は、行政を補完する公益的な法人としての責務を果たし、より安定性及び継続性のある効率的な組織・運営体制を構築するために、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を定めて積極的に事業展開をしてまいります。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年6回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」として機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもへのアプローチと利用の拡大

子どもへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、実篤公園を活用した新たな事業展開など、更なる市民サービスの向上を図ります。

5 調布市制施行60周年・開館30周年記念事業の展開

開館以来の事業を通して得られた作品・資料や情報、信頼等の財産を活用して、展覧会、普及事業等、事業全般にわたり、様々な記念事業を展開します。

<組織・運営体制>

- 1 安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。
- 2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業を、継続性をもって実行します。
- 3 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進します。
- 4 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供します。
- 5 ミュージアムアドバイザーを導入し、施設運営及び事業運営の向上を目指します。

2 指定管理に当たる基本方針

当財団が、実篤記念館の指定管理者として、施設の管理運営と事業運営を一体的に担う2年目となります。

1年目の経験を活かし、これまで財団が培ってきた経験と実績、信頼を最大限に発揮し、実篤記念館の設立理念を効果的に達成して行くため、魅力ある事業展開と施設の機能を十分活かした運営を行うとともに、利用者が快適に安心して利用できる施設であり続けられるように、指定管理業務を実施して参ります。

実篤記念館の管理運営においては、利用者ニーズを的確に把握し、専門性を活かしたサービスを提供し、高い満足度を得ることでリピーター及び新規利用者の獲得につなげるとともに、職員のスキル向上を図り、安心して利用できる施設として、利用料金をはじめとする事業収入の安定確保に努めて参ります。また、利用者へのサービスと事業の質を低下させることなく、効率的・効果的な事業運営を行うことで、収入増と経費の抑制に努めて参ります。

当財団は、公益事業を行うことを目的として設立され、市の監理団体でもあることから、指定管理者として実篤記念館を運営するに当たり、経営努力により生み出された費用を、実篤記念館の展示事業をはじめとする基幹事業に活用することにより、市民及び利用者還元し、満足度を更に高めて参ります。

3 実施方針

(1) 事業の運営に関する業務

当財団では、実篤記念館を拠点として、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与する」という設置目的を達成し、また、市民の誇れる文化施設、地域の魅力向上に貢献するために、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を展開し、利用の促進を図ります。

開館30周年、実篤生誕130周年を迎える今年度は、記念事業として2回の特別展、「武者小路実篤原作 映画「愛と死」上映とおはなし～栗原小巻さんをお迎えして～」、記念誌発行、記念式典や記念グッズの制作など様々な事業を展開し、広く武者小路実篤や実篤記念館を知る機会をつくり、新規の利用者の獲得に努めます。

武者小路実篤の文学、美術、演劇、新しき村と幅広い分野にわたる活動、日本近代文学・美術を代表する作家や画家たちとの交流など、多面的な魅力を存分に発揮するように様々な事業を企画してまいります。このように、事業全般にわたり「敷居は低く（気軽に参加）、間口は広く（幅広いジャンルからのアプローチ）、奥行きは深く（専門的な内容にも対応）」を指針として、「何度でも来たくなる実篤記念館」を目指し、リピーターの獲得と積極的な広報活動により認知度を高め、新規利用者の開拓を常に図り、良質な事業の提供に取り組んで参ります。

また、貴重な財産を後世に継承するために、事業の根幹となる資料収集と、収集した貴重な資料を良好な状態で管理するために不可欠な整理・保存事業を進めるとともに、収蔵品データベースの充実を図り、広く資料情報の公開に努めます。

さらに、調査・研究事業では、30周年記念特別展開催にあわせ、広く市民に所蔵する武者小路実篤作品や資料の情報提供を求め、調査した上で「我が家の実篤作品展」第二部の展示やパンフレットなどで成果を紹介する新たな事業を展開します。そして、引き続き、武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

武者小路実篤が作品を通して広く伝えてきた「個性を生かし、互いを認めあう」ことは普遍的なものであり、現代においても重要なメッセージとして多くの人々に共感を呼ぶものです。時代を超えた実篤の多くのメッセージを、若い世代に学校との連携事業や夏休み企画などの事業で工夫を重ねて紹介し、体験や身近に感じる機会を増やして行くことで未来の来館者を育成して参ります。

また、若年層の利用促進とともに、武者小路実篤作品に触れ、親しみを持ってきたファン層である高齢者の方々がさらに利用していただくために、高齢者施設、介護施設へ積極的に情報を提供し、高齢者施設やデイサービス等での観覧利用や出前講座など、社会福祉事業分野での利用促進に取り組みます。

これらは、当財団が30年にわたり培ってきた専門的な経験と実績のほか、武者小路家をはじめとした関係者（機関）の信頼と協力をもとに進めることができ、今後も各方面から当財団に寄せられる信頼に応えるように事業運営をして参ります。

(2) 施設の運営に関する業務

実篤記念館の運営に当たっては、地方自治法、調布市武者小路実篤記念館条例（以下「条例」という。）及び調布市武者小路実篤記念館条例施行規則等の法令を遵守し、合理的かつ効果的な運営を行ってまいります。実篤記念館が「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、高齢者や障害のある方、子ども等が安全で安心して快適に利用し、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。

受付窓口やレファレンスでは、職員各自のスキルアップに努め、常に利用者の立場に立ち、要望に応える利用案内、相談等に積極的に取り組み、誠意ある応対を行うことでサービスの向上と利用率の向上を図ります。

また、アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、的確な対応を図り、事業や施設の管理運営、利用者満足度アップや利用促進に反映して参ります。

実篤記念館の所蔵作品・資料は、後世に残す貴重な財産であり、適切な整理・保存管理を進めるとともに、展示や普及活動での活用をはじめ、データベースやホームページで所蔵情報を広く

公開することにより、他の美術館・文学館等での展示、研究にも活用が広がるように促進して参ります。

(3) 施設の管理と整備に関する業務

実篤記念館は、芸術鑑賞施設であることから、子どもから高齢者まで様々な利用者が訪れるため、安全かつ快適で、環境に配慮した施設管理運営に取り組み、施設機能を十分に発揮し、事業活動が円滑に展開できる環境作りを行います。

実篤記念館の維持管理業務に当たっては、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、調布市武者小路実篤記念館指定管理業務仕様書に示された水準に従い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

当財団は、実篤記念館の設置目的の実現に向け、職員は施設や設備を深く理解するとともに、日々の施設管理と、専門的な事業者による定期及び必要に応じて随時点検を行うことで、指定管理者として施設の維持管理に取り組みます。

また、実篤記念館の施設・設備については、開館から30年を経て、施設・設備の経年劣化による修繕や改修工事が必要なケースが多く発生しています。このため、利用者の安全性や快適性、必要な収蔵環境を維持するために、維持管理修繕に努めて参ります。

平成27年度は開館から30周年を迎え、多くの新規来館者が見込める年であり、これまで多くのご指摘をいただいた案内サインを再度点検し、優先順位を付けて改修、増設を計画的に進めるほか、実篤記念館入口で利用者に判りやすい適切な広報のために新たに掲示板を設置して、来館者が快適に利用でき、広く情報を周知できるようにいたします。

また、所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態で鑑賞できるよう、市が実施する空調改修工事実施設計やフィルム収蔵庫除湿機の設置に協力して参ります。

平成26年度から市の緑と公園課より受託した実篤公園の日常管理を引き続き担って参ります。実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高めていきます。

4 平成27年度重点事業

平成27年度は、実篤記念館が開館30周年を迎え、また、調布市制施行60周年にも当たります。

開館以来、実篤記念館がこれまでの30年にわたる展示、普及、収集、調査研究等の事業を通して得られた作品・資料や情報、また、武者小路家をはじめ関係者、関係機関との協力を通して信頼を深めてきた有形、無形の財産を活用した事業展開を進めて参ります。

開館30周年を記念した特別展や映画上映とおはなしの会、記念式典を実施するほか、展示事業では春や開館30周年記念特別展はもとより、「武者小路実篤、白樺、新しき村」を軸に、企画展でも多くの所蔵作品から代表的な作品・資料を数多く展示するなど充実した内容で展開します。

普及事業では、平成26年度に好評を得た夏休み自由研究サポートをさらに充実するほか、展示解説はこれまで展覧会ごとに1回の開催を2回にして、より展覧会への理解を深める機会を

増やします。

また、ボランティア活動では好評のガイドツアーを実施するのをはじめ、ボランティアによる運営で「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」を開催し、夏休みだけでなく、春の連休にも開催することで、多くの人に実篤の絵に触れていただくとともに、絵を描く楽しみを体験していただきます。

開館30周年に当たり、これまでの実篤記念館の活動を記録するために、30周年記念誌を編集・刊行いたします。

資料収集・管理事業では、平成26年度に新たに寄贈された河野通勢関係作品・資料の整理、データ化を進め、広く活用されるよう重点的に作業を進めます。

調査・研究事業では、開館30周年記念特別展に向け、広く市民に武者小路実篤作品の情報を集め、その成果を展覧会等で活用して参ります。

施設管理事業では、日常管理のほか、平成27年度は隔年に実施する収蔵庫の燻蒸消毒作業を施するとともに、利用者に判りやすい案内サインや掲示板の改修や増設に取り組みます。また、実篤記念館開館30年、資料館増築からも21年が経過しており、施設・設備の経年劣化による修繕が必要なケースについては、適切な修繕を実施することはもとより、中長期的な視点に立った修繕項目について市へ提案する準備を進めます。

また、市民のための公共施設であることを念頭に、市民ニーズと現状を把握し新たな来館者を獲得するための取り組みを行うとともに、利用者の満足度を一層充実させるために、ミュージアムアドバイザーという第三者からの提案を参考にして、施設運営及び事業運営の向上を目指します。

財団は設立から3年目、指定管理業務開始から2年目となります。安定した運営を行うために、組織の体制づくりと人材育成、職員の更なるスキルアップを図り、充実した事業を継続的に展開し、良質な市民サービスを提供するように引き続き努めて参ります。

5 事業内容

(1) 展示事業

文学・美術・演劇・思想と幅広い武者小路実篤の活動を、実篤記念館では年間を通じて常設展示とせず、幅広い武者小路実篤の活動が分かりやすく理解されるよう多角的に紹介し、魅力ある展示事業を目指します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	展示事業 (指定管理事業)	【対象】 市民 【事業概要】 幅広い武者小路実篤の活動を紹介していくために多角的なテーマを設け、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介し、いつでも新しい発見がある展示作りを目指します。 関係機関、協力者等との協力を深めながら、年2回の特別展と4回の企画展等を開催します。	4,450

	<p>調布市市制施行60周年、開館30周年、実篤生誕130年を記念すべく、実篤記念館のこれまで収集した作品・資料情報の蓄積を発揮し、広く実篤の活動を紹介する充実した内容で展開します。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の特別展「一人の男～武者小路実篤の生涯」 ・開館30周年記念特別展「我が家の実篤作品展」 ・企画展 4回 <p style="text-align: right;">* 詳細は別紙のとおり</p>
--	--

(2) 普及事業

普及事業を通して武者小路実篤についてより理解を深め、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供してまいります。

また、市民の誇りとなる「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	講演会・講座等事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 講演会をはじめ各種講座を開催し、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事業を提供し、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場、また市民の誇りとなるような事業を展開します。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館30周年を記念して、武者小路実篤原作 映画「愛と死」上映とおはなし～栗原小巻さんをお迎えして～の開催。 ・生誕130年を迎えた武者小路実篤の今日的意義を考える記念講演会の開催 ・好評の読書講座、自然観察会、美術講座等の開催（10講座） ・アンケート調査の実施により、受講者の開拓、事業内容の充実を図る。（通年） ・桐朋学園、東部公民館等の地域施設や地元仙川商店街等地域と連携した事業を取り組む。（通年） ・展覧会ごとの展示解説を開催（14回）*各展2回に増 ・文学散歩等のサークル活動、団体利用者に対する解説を実施する。（通年） ・他機関の事業活動に協力し、講師を務めるなどの機会をとおして、実篤や記念館事業の普及に努める。（通年） 	1,075

2	学校教育との連携事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市内小・中学校</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が持つ文学，美術，自然，情報等の様々な要素を活用して，小・中学生を対象とした「調べ学習」，「創作」，「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み，武者小路実篤や実篤記念館に親しむ機会を増やし，様々な広報を通して，身近にある教育・文化施設としての認知度を高め，利用促進を図ります。</p> <p>事業を通して，子どもたちに多様な体験をさせ，幼い頃から芸術・文化に触れさせることにより，子どもたちの感性を磨き，自身で考える力，豊かな心の育成に努めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供向け解説シートを作成及び配布（新規3シート） ・夏休み講座，夏休み自由研究サポートを充実させ，親子参加事業の開催（10講座） ・「調べ学習」，「創作」，「芸術鑑賞」等のキッズプログラムを充実（通年） ・学校図書館へ，実篤関連資料や情報の提供（通年） ・学校での出張展示や出前講座実施（通年） ・鑑賞教育，職場体験，訪問等の学校事業への協力（通年） 	600
3	ボランティア事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 市民，地域との連携を図る協力ボランティアの活動は，現在，幅広い普及活動を展開するうえで大きな力となっており，ともに地域の教養向上のために積極的に活動を進めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・充実が望まれるガイドツアーのボランティア養成講座の開催（3回） ・ガイドツアーや歴史散歩等の普及事業の実施（通年） ・ボランティアによる「実篤に挑戦！」の実施（5月，8月） ・普及事業，環境整備のサポート活動（通年） ・ボランティアの活動環境を整備（通年） 	205
4	友の会事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 友の会事業は，実篤記念館と来館者を結ぶものであり，会員の増強に努め，会員に関連情報を提供する友の会ニュース</p>	100

		<p>を定期的に発行します。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会ニュースの発行（年6回） ・会員の交流会の開催（2月） 	
5	広報事業 (指定管理事業)	<p>(1) 広報資料の作成，配布</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤記念館事業について各方面に積極的な広報を実施し，財団の事業及び名称の認知度を高めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展ポスター及びチラシの作成，配布（年2回） ・記念事業「映画上映とお話し」の会チラシ作成，配布 ・展示案内の作成，配布（年1回） ・企画展，講座等のミニポスター等の作成，配布（通年） ・館報の編集，配布（年2回） ・市報等への情報提供（通年） ・報道機関への情報提供と各種取材への対応（通年） 	1,706
		<p>(2) 印刷物編集・刊行事業</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>武者小路実篤の活動や所蔵資料を紹介する刊行物を編集及び刊行し，広く武者小路実篤への理解を深めます。</p> <p>また，開館30周年を記念した冊子を編集・刊行します。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展パンフレットの編集・刊行（年2回） ・開館30周年記念誌の編集・刊行 	1,550
		<p>(3) ホームページ</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>ホームページを運用することにより，広く武者小路実篤や実篤記念館事業を広報し，より多くの人に武者小路実篤の魅力や事業活動を周知し，認知度を高めます。</p>	1,400

	<p>【平成27年度】</p> <p>ホームページ内容の充実，更新情報の迅速化機能の活用に取り組み，より多くの方々に事業や実篤関連情報，事業記録等を周知するようにホームページを運用する。また，スマートフォンでの利用拡大に対応し，専門ページも開設。</p> <p>調査・研究の成果を順次ホームページで公開する。</p>	
	<p>(4) ぐるっとパス事業</p> <p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>「東京・ミュージアムぐるっとパス2015」事業を通して，実篤記念館の活動を周知し，広報の充実に取り組みます。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会が主催する「東京・ミュージアムぐるっとパス2015」に参加して展覧会や事業の広報，普及に努める。</p> <p>(通年，ポスター・チラシ年2回発行)</p>	150

(3) 資料収集・管理事業

所蔵資料の充実を図るための情報を集め，購入をはじめ収集に関わる業務を行い，また，美術品等の購入については市へ提案していくとともに，後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存環境の把握に努め，所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料収集・管理事業（指定管理事業/助成事業）	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>収集事業では，実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて関係資料を収集しており，財団は収集に関する各種情報を集め収集業務を担います。また，美術品等の購入については市へ提案してまいります。</p> <p>管理事業では，「調布市武者小路実篤記念館条例」，「調布市武者小路実篤記念館条例施行規則」を遵守し，資料の貸出し及び特別撮影等の申請受付，承認を行います。</p> <p>また，日常的に収蔵環境を把握し，適切な状態で収蔵するように努めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>(1) 収集</p>	1,638

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書画，原稿，書簡，図書，雑誌，写真，映像音声資料その他関連資料収集の情報を集め，市へ提案 ・ 図書，雑誌の購入作業を行い，市へ報告 ・ 寄贈，寄託受入手続きを行い，市へ報告 <p style="text-align: right;">(いずれも通年)</p> <p>(2) 資料管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貴重な作品，資料の保存環境を管理し，環境整備が必要な場合は，市へ提案 (通年) ・ 貴重な作品，資料のため動産保険加入手続き等を実施 (通年) ・ 作品，資料の利用申請，承認手続き及び，貸出・返却にともなう作業を行う。(通年) ・ 作品，資料の特別撮影への対応を行う。(通年)
--	---

(4) 資料整理・保存事業

収集した資料を整理し，データベースへの入力作業，後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存作業に努め，事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	整理・保存事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 整理・保存事業では，収集された作品・資料を速やかに整理し，収蔵品データベースへの入力作業を進めます。 また，良好な状態で保存し，後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め，収蔵品をより活用できるように積極的に取り組みます。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>(1) 整理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵資料を整理し，状態把握に努め，良好に保存 ・ 収蔵品や関連資料の記録撮影，写真パネル等を整備 <p style="text-align: right;">(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度に寄贈を受けた河野通勢関連作品・資料の整理，データ化を進める。(通年) <p>(2) 所蔵作品・資料等の修復，複製制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所蔵品資料の適切な保存管理を図るため，資料状態の把握と計画的な修復作業を実施 (通年) ・ 実篤関連の貴重資料の複製制作と活用 (1作品制作) <p>(3) 収蔵品データベースの充実</p>	1,638

	<ul style="list-style-type: none"> ・実篤記念館が収蔵する作品・資料，武者小路実篤に関する情報の入力作業を進め，収蔵品データの充実を図るとともに，展覧会，レファレンス業務，収蔵品管理等に活用（通年） ・未整理収蔵資料をデータ化し，収蔵品情報の充実に努める。（通年）
--	---

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

所蔵資料の閲覧，武者小路実篤に関する問合せに対して調査回答するレファレンスサービスの向上と，情報提供システムの活用を通して，所蔵品や実篤に関する情報を広く公開して参ります。

（単位：千円）

No.	事業名	事業内容	予算額
1	閲覧サービス 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 武者小路実篤をはじめ，白樺，新しき村に関する資料や，近代文学・美術の図書を開架する閲覧室を中心として，多くの方に利用していただくように，資料の充実と活用の促進を図り，更に実篤関連情報に関するレファレンス業務を行い，一層のサービス向上に努めます。</p> <p>【平成27年度】 (1) 一般閲覧 ・閲覧室における，閲覧・レファレンス業務，開架図書の管理及び図書紹介（通年） ・展示室と閲覧室の休室が重なる日には，閲覧室を開室 (2) 特別閲覧 ・開架図書及び特別資料の閲覧・レファレンス業務（通年）</p>	65
2	情報公開事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が収集した作品，資料，文字，画像，映像，研究情報，記録データ等を活用し，これらを収録した情報提供システム（収蔵品データベース，情報閲覧システム，映像視聴システム，ホームページ）を運用し，多岐にわたる情報の公開に努め，利用の促進を図る。</p> <p>【平成27年度】 ・情報提供システムの運用 新たに収集した作品，資料，文字，画像，映像，研究情報，記録データ等の情報を，収蔵品データベースをはじめと</p>	4,280

	した情報提供システムに追加・更新し、公開。 タッチパネル方式やタブレットPCへの対応など、多くの情報をより分かりやすく手軽に利用できるように取り組む。
--	--

(6) 調査・研究事業

広く開かれた「武者小路実篤、白樺、新しき村」の情報収集発信基地となるべく、調査・研究に取り組み、その成果を事業全般にわたり活用を図って参ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	調査・研究事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 「武者小路実篤、白樺、新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担い、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施します。</p> <p>他の文学館、美術館や研究機関等の協力を得ながら、調査・研究活動を進めることで、所蔵資料や関連資料の新たな情報を得て、作品・資料の利用価値を高めることになり、また、得た情報を事業に活用し、それらを順次公開していきます。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展関連 武者小路作品所蔵調査（上半期） ・武者小路実篤の作品発表に関する情報収集、記録、作品リストの充実（通年） ・河野通勢関連、作品・資料の調査（通年） ・他の機関の研究・事業活動への協力（通年） ・これまでの調査、研究成果をホームページで順次公開（通年） 	317

(7) 自主事業

自主事業の中心となるミュージアムグッズの販売により、自主財源を増やして普及事業をサポートするとともに、武者小路実篤や実篤記念館の認知度アップを図って参ります。

市からの指定管理、受託事業以外に自主財源を増やし、自主事業に取り組み、より充実した事業を展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	物品販売事業 (自主事業)	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】 ミュージアムグッズ販売事業は、自主財源を増やすとともに</p>	4,306

		<p>に、その収益を自主事業の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくりに充て、普及事業の更なる充実をサポートします。</p> <p>また、販売事業を通して、広く武者小路実篤や記念館事業を広報し、より多くの人に武者小路実篤や実篤記念館を周知し、認知度を高めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムグッズの販売 ・魅力あるミュージアムグッズの開発 ・販売事業を通して、実篤、記念館の認知度を高める。 ・開館30周年を記念した記念切手の制作、販売 	
2	自主事業 (自主事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>調布市の指定管理事業以外に自主財源を増やし、事業の充実を図るために、自主事業に取り組みます。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>(1) 広告料の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板下部の広告により、自主財源の確保を図る。 <p>(通年)</p> <p>(2) 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会の開催（年1回） ・観梅会の開催（年1回） ・開館30周年記念式典の開催（10月） ・三浦綾子記念文学館（旭川市）で開催（7月～10月）の文学館交流展「武者小路実篤の世界」への企画協力 	1,160

(8) 施設管理運営事業

実篤記念館は「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえ、利用者の公平、平等性を確保するとともに、実篤記念館の設置目的を踏まえた適切な運営に努めます。

施設維持管理については、施設の維持保全、人命の尊重に十分注意を払い、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤公園及び旧実篤邸の日常管理業務も行い、実篤記念館、実篤公園をあわせて管理することで、利用者がより快適に利用できるように努めます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	実篤記念館施設 管理運営業務 (指定管理事業)	<p>【対象】</p> <p>市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>調布市武者小路実篤記念館条例，同条例施行規則に基づい</p>	12,102

		<p>て、利用者が公平かつ平等に利用できるように努めます。また、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>開館 30 年を迎え、施設・設備の経年劣化による障害も発生しているため、必要な修繕を実施します。</p> <p>利用者の安全性、快適性、さらに所蔵している武者小路実篤関連の資料・作品を、永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもと鑑賞できるよう、中長期的な視点から施設の不具合等の必要な修繕について市に提案する準備を進めます。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>電気、空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作、保守点検業務、維持管理保全や清掃、警備、施設設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払いを行います。（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵環境を守るため、収蔵庫等の燻蒸を実施 (隔年、平成27年6月実施) ・市が実施する、空調改修工事実施設計、フィルム収蔵庫除湿機入替への協力（通年） ・要望が高い駅、バス停から実篤記念館までの案内板の改修、増設 ・掲示板の設置 	
2	<p>実篤公園日常管理業務 (受託事業)</p>	<p>【対象】 市民</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤公園は国分寺崖線にあり、湧水と武蔵野の自然を残し、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ施設です。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高めます。</p> <p>実篤公園及び園内の旧実篤邸の日常管理を行い、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理します。</p> <p>また、自然の保全、公園施設の補修、旧実篤邸の保存について、対応が必要な場合は緑と公園課へ提案する。</p> <p>【平成27年度】</p> <p>実篤公園の日常管理及び旧実篤邸の公開業務のほか、維持管理保全のため清掃、警備を行う。（通年）</p>	5,566

平成27年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会概要及び日程

＜展覧会概要＞

◎調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館開館30周年・武者小路実篤生誕130周年記念
春の特別展「一人の男～武者小路実篤の生涯～」

会期：4月25日（土）～6月14日（日）

※ 一部展示資料入替

前期：4月25日（土）～5月24日（日）

後期：5月26日（火）～6月14日（日）

生誕130周年を機に、「或る男」「一人の男」の2つの自伝小説を軸に、そのときどきに世間からどのような評価を得てきたのかに注目して、文学、美術、新しき村と精力的に活動した90年の生涯と業績の全体像を捉え直します。

■館内整備（燻蒸消毒）のため全館休館 6月16日（火）～26日（金）

◎夏休み企画「武者小路実篤入門」

会期：7月4日（土）～8月30日（日）

「友情」「愛と死」「人生論」ほか幅広い文学活動、独特の作風で親しまれている書画の制作や美術コレクション、新しき村の運動と多彩な活動をした武者小路実篤の90年の生涯を、初めて実篤を学ぶ人にもわかりやすい解説でご紹介します。

◎秋季展「僕の美術館～実篤コレクション名品展」

会期：9月5日（土）～10月18日（日）

若いころから古今東西の美術に親しみ、手の届く小品を収集し日々楽しんだ実篤。現在、当館・東京都現代美術館・新しき村美術館に別れている実篤コレクションの名品を一堂に集めて、実篤の眼が選んだ作品をご覧ください。

◎調布市制施行60周年・武者小路実篤記念館開館30周年記念

特別展「我が家の実篤作品展」

第一部 会期：10月24日（土）～12月6日（日）

第二部 会期：12月12日（土）～平成28年1月24日（日）

開館30周年記念を機に、普段公開されることのない個人所蔵の作品を、所蔵者のご協力のもと、皆様にご覧いただきます。

第一部では、実篤と交友のあった作家・画家の方々が所蔵していた作品を、由来とともにご紹介します。

第二部では、調布市内を中心に東京都内・近郊のご家庭で大切にされてきた作品をお借りして、作品にまつわるエピソードを添えてご覧いただきます。

◎企画展「筆の向くまま 所蔵原稿名品展」

会期：1月30日（土）～2月28日（日）

当館が所蔵する300タイトル余の原稿から名品を紹介し、多彩な文学世界と実篤が紡いだ人を前向きにさせる力を持つ言葉に触れるとともに、自筆原稿から伝わる作者の息遣いを感じていただきます。

◎春季展「新収蔵品展～河野通勢資料を中心に」

会期：3月5日（土）～4月17日（日）

白樺時代から生涯にわたって実篤と深い関わりがあった画家・河野通勢の作品と資料合計8000点余が、平成26年度当館に寄贈されました。これらを中心に、平成24年度以降に新たに当館が収蔵した作品・資料をご紹介します。

<平成27年度 休館日>

平成27年

4月6, 13, 20, 27日

5月7, 11, 18, 25日

6月1, 8, 15, 16～26, 29日

* 館内整備（燻蒸消毒）休館 16～26日

7月6, 13, 21, 27日

8月3, 10, 17, 24, 31日

9月7, 14, 24, 28日

10月5, 13, 19, 26日

11月2, 9, 16, 24, 30日

12月7, 14, 21, 28, 29, 30, 31日

平成28年

1月1, 2, 3, 4, 12, 18, 25日

2月1, 8, 15, 22, 29日

3月7, 14, 22, 28日

<平成27年度 展示室休室日>

平成27年

4月14, 15, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24日

6月16～26, 27, 28, 30日

7月1, 2, 3日

9月1, 2, 3, 4日

10月20, 21, 22, 23日

12月8, 9, 10, 11日

平成28年

1月26, 27, 28, 29日

3月1, 2, 3, 4日

<平成27年度 閲覧室休業日>

平成27年

4月2, 9, 30日

5月7, 14, 21, 27, 28日

6月4, 11, 16~26日

7月9, 16, 23, 29, 30日

8月6, 13, 20, 26, 27日

9月10, 17, 24, 30日

10月1, 8, 15, 28, 29日

11月5, 12, 19, 25, 26日

12月3, 17, 24日

平成28年

1月7, 14, 21日

2月4, 18, 24, 25日

3月10, 17, 24, 30, 31日

<平成27年度 旧実篤邸公開日>

土・日曜日・祝日 11:00~15:00 (雨天の場合は中止)

平成27年

4月4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26, 29日

5月2, 3, 4, 5, 6, 9, 10, 16, 17, 23, 24, 30, 31日

6月6, 7, 13, 14, 20, 21, 27, 28日

7月4, 5, 11, 12, 18, 19, 20, 25, 26日

8月1, 2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 29, 30日

9月5, 6, 12, 13, 19, 20, 21, 22, 23, 26, 27日

10月3, 4, 10, 11, 12, 17, 18, 24, 25, 31日

11月1, 3, 7, 8, 14, 15, 21, 22, 23, 28, 29日

12月5, 6, 12, 13, 19, 20, 23, 26, 27日

平成28年

1月9, 10, 11, 16, 17, 23, 24, 30, 31日

2月6, 7, 11, 13, 14, 20, 21, 27, 28日

3月5, 6, 12, 13, 19, 20, 21, 26, 27日

平成27年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収支予算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(事業活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	増減	備考
大	中				
1	補助金	74,216	73,151	1,065	
	1 人件費	64,567	63,391	1,176	
	2 事務費	9,649	9,760	△ 111	
2	指定管理料	27,382	24,744	2,638	
	1 指定管理料	27,382	24,744	2,638	
3	受託事業収入	5,566	5,566	0	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	5,566	5,566	0	
4	利用料	1,400	1,350	50	
	1 利用料	1,350	1,250	100	
	2 頒布料	50	100	△ 50	
5	諸収入	1,001	201	800	
	1 事業参加費	100	100	0	
	2 友の会会費	100	50	50	
	3 雑収入	150	50	100	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	650	0	650	
6	自主事業収入	5,476	3,901	1,575	
	1 自主事業収入	30	80	△ 50	
	2 物品販売事業収入	4,500	3,500	1,000	
	3 諸収入	445	320	125	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	500	0	500	
事業活動収入計 (A)		115,041	108,913	6,128	

(事業活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度予算額	増減	備考
大	中				
1	管理費	74,216	73,151	1,065	
	1 人件費	64,567	63,391	1,176	
	2 事務費	9,649	9,760	△ 111	
2	事業費	17,631	17,048	583	
	1 普及促進事業費	11,713	11,021	692	
	2 資料管理事業費	1,638	1,704	△ 66	
	3 情報提供システム事業費	4,280	4,323	△ 43	
3	施設管理費	17,668	14,763	2,905	
	1 施設管理運営事業費	12,102	9,197	2,905	
	2 実篤公園管理事業費	5,566	5,566	0	

4	自主事業費	5,476	3,901	1,575
	1 積立金	10	10	0
	2 物品販売事業費	4,306	3,441	865
	3 自主事業費	1,160	450	710
5	予備費	50	50	0
	1 予備費	50	50	0
	事業活動支出計 (B)	115,041	108,913	6,128
	事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	0	0	0